

カザネシュティ村「子どもデイケアセンター」に対する支援（2018年度報告）

2019.2.14 川村容子

モルドバでは、人口のおよそ3分の1が出稼ぎのため長期にわたり国外に出て行ってしまわれていると言われています。家に残された子供たちは思春期を孤独なうちに過ごさねばなりません。モルドバジャパンは発足の当初より、こうしたモルドバの子供たちの生活・教育環境向上への協力の一環として、カザネシュティ村の学童保育施設「子どもデイケアセンター」への支援を実施しています。センターは同地の小学校内に置かれていますが、全校生徒の中から特に家庭が貧しい子どもや、両親が共に国外に出稼ぎに行っている子供たちおよそ30名を対象に、放課後に宿題、給食の世話をしています。

2018年度における支援事業として以下の活動を行いました。

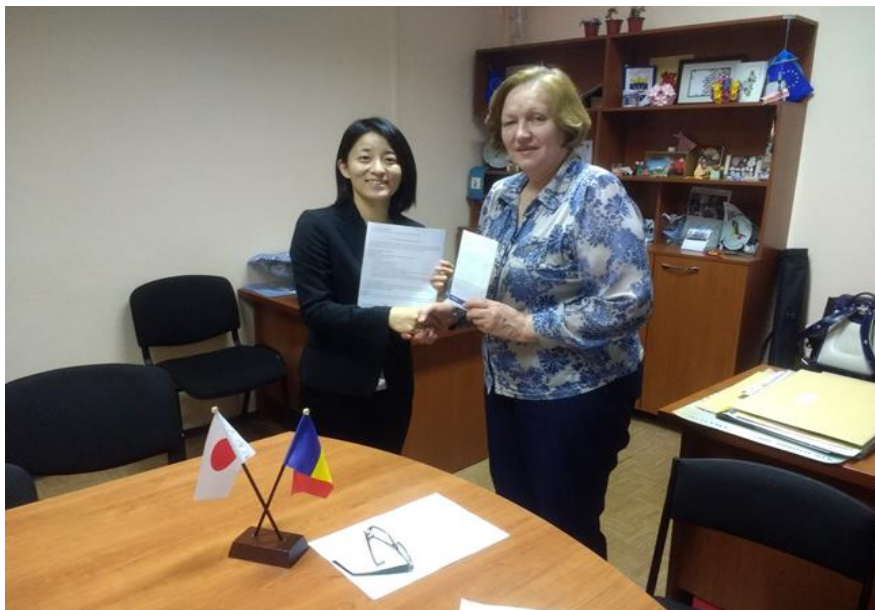
1. 川村が2018年9月11日（12日キシノウ着）より同28日（27日キシノウ発）の日程でモルドバに出張し、関係者との打ち合わせおよび現地視察を行いました。9月13日、センターを運営する「日本モルドバ文化文明協会」オフィスにて、同協会代表ライサ・プラドツァーヌ女史他3名との打合せを行いました。

会議冒頭ライサ女史より、センターの2017年度活動および収支報告書とともに、2018年度計画について説明があり、モルドバジャパンへの支援要請書が提出されました。これを受け、川村より、2018年度支援金として3,300ドルを贈与する旨伝達し、同決定通知書とともに同額の支援金を贈りました。先方より感謝の言葉が述べられました。

またこの機会に、センターの活動内容をより多くの日本の支援者に知ってもらう方法について意見交換を行いました。一案としてモルドバジャパン会員向けにセンター活動を紹介するとともに、センター側との交流を推進するための「デイケアセンター専用 facebook」を設定してはどうかとの提案があり、具体的な可能性につき検討することとされました。

さらにセンター活動に対する支援者、協力者を増やして行くことの必要性およびその方法について意見交換が行われ、今後の個人、企業等への協力要請につき、モルドバジャパンと同協会間で情報共有しつつ、積極的に働きかけを行っていくこととしました。

〔ライサ女史に支援金を贈呈〕



2. センター訪問

2018年9月26日、川村はデイケアセンターに行っていました。

センター運営にあたるカザネシュティ小学校校長、センター現地教員等と打合せを行うとともに、センター在籍の子どもたちおよび卒業生一人ひとりにインタビューをすることができました。モルドバにおける近年の厳しい生活環境の中、センタースタッフの支えのもと、子供たちがそれぞれの小さな体で現実をしっかり受け止め、真摯に未来を切り開こうとしている姿に接し、本事業の重要性を改めて感じさせられました。

センターの子どもたちからの、モルドバジャパン会員宛の、お礼の手紙（一部）を以下にご紹介します。また、Youtubeでも「センター紹介動画」をご覧くださいので、同URL を以下の通りご案内いたします。

<https://www.youtube.com/watch?v=t3uQ8pzfpk0&feature=youtu.be>

〔子供たちは支援者の皆さんに感謝しています〕



親愛なる、K.K.様（モルドバジャパン会員）

私の名前はM.B.です。カザネシュティ村にある「アドリアン・パウネスク小中高等学校」の9年生です。2年生の時からセンターに通っています。私は宿題を見てもらうことができ、日本語を学ぶことができるので、このセンターが好きです。また、センターでスポーツをすることも、音楽を聞くことも好きです。

センターの課外活動で遠足に行かせてくださり、また給食を無料で提供してくださって、ありがとうございます。このセンターが継続して運営できるようにいつもケアをしてくださっているライサさん（注：センター運営の現地コーディネーター）にも感謝します。

9年生を卒業した後も（注：センターは9年生まで在籍可）、個人的にでもご支援いただくことができればとても嬉しいです。

M.B.

9年生

2018年9月25日

親愛なる、T.K. 様（モルドバジャパン会員）

ご支援くださり、ありがとうございます。私の名前はE.A.で、センターには5年前から通っています。センターに来てから少しずつ勉強ができるようになって、成績が上がりました。給食を無料で食べることができるこのようなセンターを学校の中につくってくださったことに感謝します（注：センターは子どもたちが通う学校を間借りして運営しています）。私には2人の女兄弟がいますが、妹もこのセンターに通い、姉はキシノウ（注：モルドバの首都）で働いています。私はこのセンターが好きで、ここではたくさんの情報を知ったり、色々な遊びなどもすることができます。アナ先生（注：センターの担任の先生）は、私たちの宿題の面倒をよく見てくれたり、将来について相談に乗ってくれたりする、とてもよい先生です。

もう一度、私たちの学校の中にセンターをつくってくださったことに感謝したいです。ありがとう！！

2018年9月24日

E.A. 8年生

親愛なる、T.A. 様（モルドバジャパン会員）！

私の名前はN.です。アドリアン・パウネスク小中高等学校の8年生です。このセンターに来て4年になります。このセンターで学ぶことができとても嬉しく思っています。ご支援くださって、本当にありがとうございます。このセンターで、これまで思ってもみなかったほどの仲の良いたくさんの友達をつくることができました。いつも私たちの世話をしてくれる先生（注：センター担任のアナ先生）にも感謝しています。センターでは、とてもよい時間を過ごしています。とてもたくさんの楽しいアクティビティーをしています。日本からのお客さまとお会いできることができ、いつも嬉しく思っています。T.A.さまとそのほかのスポンサーの方々のおかげで、今の自分がいます。そして、私が目指す目標に到達できるように、これからも支援を続けていただければ嬉しいです。どうもありがとうございます！

敬具

N.T.
